

特集・職員の自主研究・施策研究―政策研究を目指して②

# 自主研究・行政研究・施策研究の現状と課題

- ① 行政問題自主研究と人材育成
- ② 衛生局研究発表会について
- ③ 下水道研究の現状と今後の課題
- ④ 建築行政問題研究発表会
- ⑤ まちづくりを楽しむ「まち研」

市役所内では、さまざまな職員の自主研究・行政研究・施策研究が行われている。総務局職員研修所の行政問題自主研究を始め、研究発表会を実施している局もある。これらの研究は、行政上の課題や問題を、職員自らが考え、解決したり提案しているものである。

その他、市民も加わった自主的集まりや研究グループも活動している。

職員研修所の行政問題自主研究は、昭和五十二年度から百五十件の研究が実施されてきたが、本年度から、課題担当課や企画財政局企画調整室も協力して、政策研究に力点を置いた自主研究を目指している。募集タイトルも「政策研究会」や「大募集!!」となっている。

局内の発表会を行っているのは、衛生局、下

水道局、建築局の三局である。衛生局では、二

十六回の実績があり、一千二百二十件報告されている。下水道局が十五回、建築局が五回実施している。全体の発表事例は、相当の件数に及ぶ。三局とも、保健・医療や下水・建築といった技術職や専門職の多い職場であり、具体的な提案や取り組みを仕事に生かしやすいといえよう。

今後事務系の多い職場でも、積極的に取り組まれてよいと思われる。

なお、区役所では、全区で自主研修が取り組まれている。総務局区連絡調整課からの予算で実施されており、自主研修報告会が行われた区もある。

市民も参加した自主的集まり・研究グループとしては、十年以上の実績をもつ「よこはま

かわを考える会」「まちづくり研究会」を始め、「元氣な市民の出会いのY・E・N」「よこはま生涯学習ネットワーク研究会」等がある。これらのグループにおいても、市の業務や施策の在り方を、さまざまな角度から調査・研究し施策提言を試みている。

この他にも各局区において、いろいろなグループや集まりがもたれていよう。こうした取り組みが、施策に反映され、新しい発想を生み、市の政策や施策が生き生きしたものになっていくことが、職員にとっても市民にとっても大切なことに違いない。

今回は、自主研究・行政研究・施策研究の現状・課題と、事例を紹介する。